

- 林業については、労働条件の厳しさや低賃金等という悪いイメージばかりが定着し、担い手の確保が困難な状況にある。
- また、森林管理システムを円滑に推進していく上では、各地域の林業を担う林業事業体を意欲と能力のある林業経営者へ育成していく必要がある。
- そこで、県では、林業労働力確保支援センターに委託して、就業希望者に向けたイメージ動画を作成するとともに、インターネットを通じて広く周知することで林業への理解を促進し、林業事業体への就業拡大を図った。また、事業体の経営診断、生産性向上のための指導を行い林業事業体の育成を行くとともに、林業機械のリース等経費への支援を行い、担い手の確保と林業事業体の育成に努めた。
- 令和6年度においても、引き続き担い手の確保及び事業体の育成に努めることとしている。

事業内容

1 生産性向上等指導事業

林業への理解促進と就業者の確保を図るためのイメージ動画を作成するとともに、インターネットでの情報発信を行う。また、林業事業体の生産性及び収益性の向上のための現地指導や経営指導を実施。

【事業費】6,149千円(全額譲与税)

【実績】ホームページの改修とショートリール動画20本の作成及び動画配信12林業経営体に対し、経営診断や産性向上等の指導を実施

2 新規参入事業者等生産性向上支援事業

意欲と能力のある林業事業体と連携して施業を実施する事業体を対象に林業機械のリース等経費への支援を行う。

【事業費】29,600千円(全額譲与税)

補助率：1/3以内

【実績】19事業体に対し、リース等経費に支援

3 高度林業担い手育成機器整備事業

意欲と能力のある林業事業体の経営改善のため、高度な林業技術者を養成するための研修用機器を整備する。

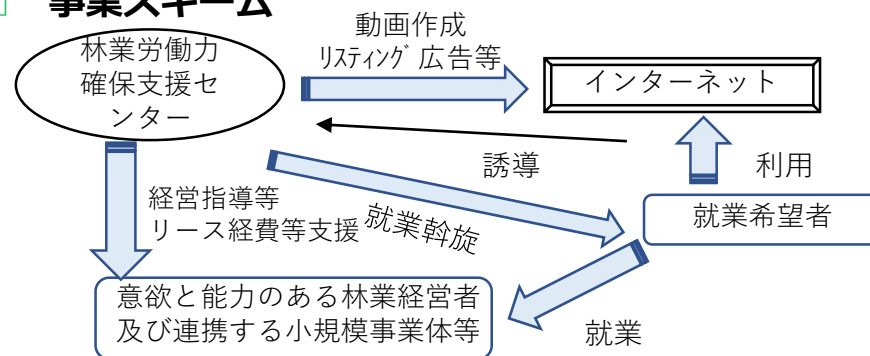
【事業費】9,512千円(全額譲与税)

【実績】デジタル通信立木調査システム、チェンソー、刈払機、防護ブーツ、コンプレッサー、人検知AIモニタリング機器 ほか



(事業1：イメージ動画)

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・林業に興味を持ってもらえるような楽しいイメージややり甲斐のある仕事というイメージのHPとショートリール動画20本を作成。

- ・林業事業体に就業した新規就業者数が令和5年は65人と、前年に比べ4人増加した。

基礎データ

①令和5年度譲与額	144,526千円
②私有林人工林面積(※1)	189,478ha
③人口(※2)	1,334,841人
④林業就業者数(※3)	1,425人

※1：「2020農林業センサスより」より、※2：「R2年国勢調査」より、※3：「H27年国勢調査」より